

2021年3月29日
シスメックス株式会社

ヘマトロジー分野製品ポートフォリオの持続的な進化を目指して ～フラッグシップモデルXRシリーズと白血球3分類コンパクトモデルXQシリーズから順次展開～

シスメックス株式会社（本社：神戸市、代表取締役会長兼社長 CEO：家次 恒）は、ヘマトロジー分野における次世代フラッグシップモデル「多項目自動血球分析装置 XR シリーズ」と、白血球3分類コンパクトモデル「多項目自動血球計数装置 XQ シリーズ」の発売についてお知らせします。

シスメックスは、地域の特性や施設のニーズに応じた検査室運営の最適化に貢献すべく、今回の製品発売を皮切りに、ヘマトロジー分野製品ポートフォリオの進化に取り組んでいきます。

シスメックスは、1968年の会社創立から、血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさなどを分析するヘマトロジー（血球計数検査）を主力分野として事業を展開してきました。2011年に発売した「多項目自動血球分析装置 XN シリーズ」（以下「XN シリーズ」）よりモジュラーコンセプトを採用し、血球計数、塗抹標本作製、血液像自動分析や検体並べ替えのモジュールを組み合わせることで、お客様の環境に応じた幅広いシステム提案を可能とし、グローバルトップシェアを獲得しています。

シスメックスは、「より価値ある検査結果の提供と、それを活用できる検査室環境の実現」を目指し、ヘマトロジー分野製品ポートフォリオの進化に取り組んでいます。その先駆けとして、ヘマトロジー分野における次世代フラッグシップモデル「多項目自動血球分析装置 XR シリーズ」（以下「XR シリーズ」）と、白血球3分類コンパクトモデル「多項目自動血球計数装置 XQ シリーズ」（以下「XQ シリーズ」）を発売します。

「XN シリーズ」の後継機である「XR シリーズ」は、「Operational Value（検査業務の効率化）」、「Managerial Value（検査室運営の最適化）」、「Clinical Value（検査結果の臨床的価値向上）」の3つの柱に基づき開発し、処理速度を最大10%向上させるとともに、幼若顆粒球^{*1}や幼若血小板などの計数、フラグging機能^{*2}の最適化を図ることで、顕微鏡検査数の低減、検査業務の効率化に寄与します。また、モジュラーコンセプトを継承し、塗抹標本作製、血液像自動分析や検体並び替え・保管などのモジュールと組み合わせることで、中規模病院から大規模病院・検査センターまでを網羅する幅広い提案を可能にします。まずは、「XR-1000/XR-2000」の提供を開始し、製品・サービスを順次展開していきます。

「多項目自動血球計数装置 XP シリーズ」の後継機である「XQ シリーズ」は、処理速度を70テスト/時間へ高めるとともに、デジタル波形処理により白血球分画性能を向上させることで、検査業務の効率化に貢献します。また、フラッグシップモデルの技術を再活用し、高い堅牢性・メンテナンス性に加え、上位装置と互換性のあるインターフェースを採用しました。これにより、新興国を中心とした白血球3分類市場におけるシェア獲得および当社プレゼンス向上を目指します。

なお、両製品は CaresphereTM と連携することで、装置および検査室全体の稼働状況をお客様自身がリモートで簡便に把握・分析することが可能となり、検査室における日々の業務遂行の効率化を支援します。

シスメックスは今後も、フロントランナーとして、先進技術を積極的に活用するとともに継続的に研究開発に取り組むことで、新たな価値提供を目指していきます。

【製品の概要】

一般的名称： 血球計数装置（35476000）

販売名： 多項目自動血球分析装置 XR シリーズ
（医療機器製造販売届出番号：28B1X10014000008）

システム名： XR-1000/XR-2000

対象地域： 全地域

製造販売元： シスメックス株式会社

発売時期： <日本>2021年4月 <海外>各国の許認可取得後、順次発売

外観：



XR-1000



XR-2000

一般的名称： 血球計数装置（35476000）

販売名： 多項目自動血球計数装置 XQ シリーズ
（医療機器製造販売届出番号：28B1X10014000007）

型名： XQ-320

対象地域： 全地域

製造販売元： シスメックス株式会社

発売時期： <日本>2021年3月 <海外>各国の許認可取得後、順次発売

外観：



XQ-320

【参考】

2018年4月5日リリース『新たなネットワークソリューション「Caresphere™」の提供を開始 ～情報化が加速するヘルスケアの未来に向けたインテリジェントな情報活用を支援～』
<https://www.sysmex.co.jp/news/2018/180405.html>

2019年3月18日リリース『「臨床検査情報システム Caresphere™ LWS」を発売～「Caresphere™」の新たなソリューションにより臨床検査のさらなる効率化を実現～』
<https://www.sysmex.co.jp/news/2019/190318.html>

2019年9月19日リリース『検査品質マネジメント運用支援システム「Caresphere™ QM」を発売～「Caresphere™」の新たなソリューションにより高品質な臨床検査室運営を実現～』
<https://www.sysmex.co.jp/news/2019/190919.html>

【注釈】

※1 顆粒球：

顆粒球とは、細胞の中に殺菌作用のある成分を含んだ「顆粒」を持つ白血球の総称であり、好中球、好酸球、好塩基球の3種類に分けられる。幼若顆粒球とは、成熟していない顆粒球を示し、通常、末梢血液中には出現しないが、骨髄の回復期や重度の感染症、癌の骨髄転移、骨髄性の白血病などにおいて末梢血液中に確認される。

※2 フラッグ機能：

予め装置に設定した基準値の範囲外の数値が出た場合など、特定の異常検体の可能性を知らせる機能。診断には直結せず、検査の補助データとしてのみ使用される。

以上

本プレスリリースは、ステークホルダーの皆さまに企業活動をお伝えするために実施しています。当社製品や研究開発の情報を含む場合がありますが、これらは製品に関するプロモーションや広告、医学的なアドバイス等を目的とするものではありません。また、掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。